

平成 29 年度の取組状況について（主なものを抜粋）

資料 3 - 1（参考資料）

【広島病院】

<医療機能の強化（患者受入の強化）>

項 目	H28 年度取組状況	H29 年度取組状況	H29 目標指標（H29.4～8）
救急医療の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○救急車応需率向上に向けた取組（H28.8～） <ul style="list-style-type: none"> ・受入困難事例報告制度 ・当直開始時の関係者ミーティング ・当直コンセプトや外傷患者の受入ルール策定「広島病院当直業務の手引」等 ○広島地区外科二次輪番救急へ参加（H29.3～ 月2回程度） 	<ul style="list-style-type: none"> ○救急車応需率向上に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・応需率 H29.4～8 88.1%（対前年同期+12.5%） 	<ul style="list-style-type: none"> ○救急車受入件数 <ul style="list-style-type: none"> H29 実績 2,429 台 H29 目標 2,305 台 +124 台 H28 同期 1,927 台 +502 台 （参考） ○脳心臓血管センター新規入院患者数 ※（）救急車 <ul style="list-style-type: none"> H29 実績 1,260 人 H28 同期 1,095 人 +165 人 救急車（379 人）（313 人）（+66 人）
がん医療の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○がん診療連携（地域連携）の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・がん地域連携パスの推進（パス適用件数 220 件 対前年 +6 件） ○がん化学療法の外来化推進（外来化学療法件数 7,201 件 +189 件） 	<ul style="list-style-type: none"> ○がん医療体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・複数診療科の連携による専門センターの設置（呼吸器センター，消化器センター） ・センターの特徴を地域医療機関へ積極的にPR 	<ul style="list-style-type: none"> ○入院がん患者数 <ul style="list-style-type: none"> H29 実績 1,924 人 H29 目標 2,096 人 ▲172 人 H28 同期 1,962 人 ▲38 人 ○呼吸器センター・消化器センター入院がん患者数（呼吸器）H29 実績 346 人 H28 同期 292 人 +54 人 （消化器）H29 実績 549 人 H28 同期 524 人 +25 人 （その他（対前年同期）） <ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍科（化学療法）▲44 人（外来移行） ・泌尿器科 ▲27 人 ・婦人科 ▲29 人 ・放射線治療科 ▲15 人
高度医療の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○手術室の稼働率を高める取組 <ul style="list-style-type: none"> ・木曜日に、翌週手術予定一覧を各診療科へ配布し、翌週の空枠を利用希望先着順に受付 ○医療の高度化 <ul style="list-style-type: none"> ・難易度の高い手術を積極的に受入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ○手術室の稼働率を高める取組 <ul style="list-style-type: none"> ・定期手術枠を増やすため、診療科別手術枠の組み替えを行い、予定手術枠を増設 ○H28 に更新したアンギオ装置を有効に活用し、循環器疾患患者を積極的に受入れ <ul style="list-style-type: none"> ・H29 心臓介入件数 621 件（対前年 +91 件） 	<ul style="list-style-type: none"> ○全身麻酔手術件数 <ul style="list-style-type: none"> H29 実績 1,880 件 H29 目標 1,875 件 +5 件 H28 同期 1,744 件 +136 件 （予定手術 H29 1,516 件（対前年 +48 件） 緊急手術 H29 364 件（対前年 +88 件） （定期枠外手術含む））
地域医療連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○医師による地域の医療機関訪問など <ul style="list-style-type: none"> ・医師による医療機関訪問件数（H27 242 件 H28 154 件（中区を中心に訪問）） ○地域の医療機関との連携を重視した逆紹介の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○医師による地域の医療機関訪問など <ul style="list-style-type: none"> ・医師による医療機関訪問件数（H29.4～8 84 件 中区・西区を中心に） ・呼吸器センター，消化器センターの地域の医療機関への積極的なPR ○地域の医療機関との連携を重視した逆紹介の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○紹介率 <ul style="list-style-type: none"> H29 実績 90.6% H29 目標 83.0% +7.6% H28 同期 85.8% +4.8% ○逆紹介率 <ul style="list-style-type: none"> H29 実績 104.6% H29 目標 100.0% +4.6% H28 同期 98.1% +6.5%

<医療の質と患者満足度の向上>

項 目	H28 年度取組状況	H29 年度取組状況
医療の質と患者満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○業務改善活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・外来待ち時間短縮への取組 外来 15 分予約枠の拡大 (H27 内科・外科受付, H28 産婦人科受付) ・駐車場待ち時間短縮への取組 無料送迎バスの継続運行 (H27. 4~) <ul style="list-style-type: none"> 〔 駐車場待ち台数 (H28 10 時平均 17.5 台 対前年△5.4 台) 〔 送迎バス利用者数 (H28 24,263 人 対前年+3,206 人) ・TQM 活動の推進 (発表大会 8 月 継続報告会 2 月) <ul style="list-style-type: none"> 〔 TQM 活動: 14 チーム 対前年+2 チーム 〔 TQM 手法習得者数(累計): 160 人 対前年+85 人 〕 ・5S 活動の推進 (H28 は「整頓」上期 10 月, 下期 2 月状況報告会) <p>○ジェネリック医薬品の導入促進による患者医療費負担の軽減 (H28 使用数量比率 81.5% 対前年+4.3%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○業務改善活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・外来待ち時間短縮への取組 H29. 10 までに 15 分予約枠を全診療科へ拡大 (H29 精神科・眼科耳鼻科・小児, 泌尿器・精神科受付) ・無料送迎バスの継続運行 <ul style="list-style-type: none"> 〔 駐車場待ち台数 (H29. 8 累計 10 時平均 15.1 台 対前年同期△4.1 台) 〔 送迎バス利用者数 (H29. 8 10,643 人対前年同期+294 人) ・TQM 活動の推進 (発表大会 8 月) <ul style="list-style-type: none"> 〔 TQM 活動: 10 チーム (累計 36 チーム) 〔 TQM 手法習得者数 (累計): 218 人 (+58 人) 〕 ・5S 活動の推進 («整理・整頓・清掃» 上期 10 月状況報告会) <p>○ジェネリック薬品の導入促進による患者医療費負担の軽減 (H29. 8 使用数量比率 85.0% 対前年同期+6.6%)</p>

<収支改善への取組>

項 目	H28 年度取組状況	H29 年度取組状況
増収対策の取組強化	<ul style="list-style-type: none"> ○「増収対策 P T」を設置し, 診療報酬算定拡大に向け取組 <ul style="list-style-type: none"> ・各種加算の算定手順や流れを可視化 (ペーパー化) し, 医療職, 事務職が共有することにより確実に算定する仕組を構築 (H29. 1~ 入院より開始) ・算定件数が少ない項目で, 重要な項目を 4 項目選定し, それぞれWG を設置し, 課題分析と算定増に向けた取組を集中的に実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○診療報酬算定拡大への取組 <ul style="list-style-type: none"> ・算定手順策定の項目を順次拡大 (入院から外来へ) ・保留レセプト (必要書類の不足等により, 保険請求できていないレセ) の多くを占める生活保護等について, 早期に請求できる仕組を構築
人件費の適正化	<ul style="list-style-type: none"> ○職員の配置見直しによる新たな加算の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○職員の配置見直しによる新たな加算の取得, 検討 取得; 退院調整加算 I +16 百万円/年 (H29. 5~) 計画; 夜間看護配置加算 +79 百万円/年 (H29 年度中) 等 ○外来診療体制の検証 看護師, デイカルク等の業務区分を整理し, 適正配置を検討
材料費・経費等の費用節減	<ul style="list-style-type: none"> ○診療材料の標準化・統一化による購入品目数, 購入額の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・造影剤の見直し (29.3~ ▲10 百万円/年) ・その他ペースメーカー等材料の見直し (▲13 百万円/年) ○光熱水費の節減 <ul style="list-style-type: none"> ・常時点灯不要箇所の消灯, 植栽の散水方法の見直し等を実施 (H28 対前年▲51 百万円) 	<ul style="list-style-type: none"> ○委託契約の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・専門コンサルを導入し, 委託内容を見直し中 ○材料の標準化・統一化等 <ul style="list-style-type: none"> ・薬品も含め, 材料の標準化・統一化を図るとともに, 全国価格データによる値引き交渉を引き続き実施 ○光熱水量の節減

【安芸津病院】

＜医療機能の強化（患者受入の強化）＞

項 目	H28 年度取組状況	H29 年度取組状況	H29 目標指標（H29.4～8）															
予防医療の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○人間ドック・がん検診の件数増に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・医療公開講座，地域イベント，地元企業や行政機関への訪問による健診受診促進 (健(検)診件数 2,494件 対前年+153件) ・前回受診から一定期間経過した患者への受診促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○健診受診の促進への活動を引き続き実施 <ul style="list-style-type: none"> ・医療公開講座，地域イベント，地元企業や行政機関への訪問による健診受診促進 ・前回受診から一定期間経過した患者への受診促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○健(検)診件数 <table border="0"> <tr> <td>H29 実績</td> <td>1,119 件</td> <td>H29 目標</td> <td>989 件</td> <td>+130 件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>H28 同期</td> <td>1,056 件</td> <td>+ 63 件</td> </tr> </table> 	H29 実績	1,119 件	H29 目標	989 件	+130 件			H28 同期	1,056 件	+ 63 件					
H29 実績	1,119 件	H29 目標	989 件	+130 件														
		H28 同期	1,056 件	+ 63 件														
地域との連携 (地域包括ケアの推進)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域包括ケア病床の運用 (急性期後のリハビリ，在宅復帰に向けた支援) <ul style="list-style-type: none"> ・高い病床利用率を維持 (H28 21床 100%) ○介護関係等との連携や在宅療養支援の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネとの協議会を立上げ，検討を進めた。 (H28.7～7回) ・ケアマネからの依頼による訪問看護利用者数が増加 (H28.4～6:1名, H28.7～H29.3:8名) ・肺炎罹患率の低下等を目指し，地元歯科医院との連携を強化 (H28.12～病棟ミールラウンド 3回) 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域包括ケア病床の拡充 (H29.4～) <ul style="list-style-type: none"> ・長期入院ニーズに対応し，21床から29床に8床増床 (全体病床数:100床から98床▲2床) ○社会福祉士を1名配置し，退院時等の介護関係との連携機能を強化 (看護師▲1人 社会福祉士1名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域包括ケア病床利用率 <table border="0"> <tr> <td>H29 実績</td> <td>100.9%</td> <td>H28 同期</td> <td>102.8%</td> <td>▲1.9%</td> </tr> </table> ○訪問看護実施数 <table border="0"> <tr> <td>H29 実績</td> <td>1,167 枠</td> <td>H29 目標</td> <td>852 枠</td> <td>+315 枠</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>H28 同期</td> <td>783 枠</td> <td>+384 枠</td> </tr> </table> 〔訪問看護利用者数 H29 29.0人/月 +5.6人〕 	H29 実績	100.9%	H28 同期	102.8%	▲1.9%	H29 実績	1,167 枠	H29 目標	852 枠	+315 枠			H28 同期	783 枠	+384 枠
H29 実績	100.9%	H28 同期	102.8%	▲1.9%														
H29 実績	1,167 枠	H29 目標	852 枠	+315 枠														
		H28 同期	783 枠	+384 枠														

＜医療の質と患者満足度の向上＞

項 目	H28 年度取組状況	H29 取組状況
医療の質と患者満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○手術日の固定化や中央採血化により患者の利便性を向上 (それぞれ H29.1～, H29.2～試行開始) <ul style="list-style-type: none"> ・手術日固定により，予定時間通りの手術開始と終了を目指す。 ・中央採血化により，採血待ち時間の短縮を図る。 (短縮待ち時間:内科▲7分, 外科▲4分, 整形▲6分) ○ジェネリック薬品の導入促進による患者医療費負担の軽減 (H28 使用数量比率 86.5% 対前年+44.6%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○手術日の固定化や中央採血化を本格実施 ○TQM活動や5S活動を開始 <ul style="list-style-type: none"> ・広島病院の改善推進室の支援を受け，TQMの手法取得に向け人材育成中 〔TQM活動:4チーム 対前年+2チーム(累計:6チーム) TQM手法習得者数(累計):32人 対前年+20人〕 ○ジェネリック薬品の導入促進による患者医療費負担の軽減 (H29.7 使用数量比率 87.4% 対前年同期+15.0%)

<収支改善の取組>

項 目	H28 年度取組状況	H29 年度取組状況
人件費の適正化	<p>○職員の適正配置による業務効率化や新たな加算等の検討</p>	<p>○外来看護体制の見直し ・業務の見直しにより常勤看護師を非常勤看護師に移行（常勤看護師▲2）</p> <p>○職員の配置見直しによる新たな加算の取得、検討 取得；退院支援加算Ⅰ +5百万円/年（H29.5～） 認知症ケア加算 +2百万円/年（H29.6～） ADL維持向上加算 +5百万円/年（H29.5～） 計画；夜間看護配置加算等の取得（H30.4～）</p>
材料費・経費等の費用節減	<p>○薬品費の節減 ・使用薬品をできるだけ広島病院に合わせ、両病院協働での購入価格の適正化を推進 （H28 共通化品目割合 80.5% 対前年+10.2%）</p> <p>○光熱水費等の事務的経費の節減 （常時点灯不要箇所の消灯徹底等 光熱水費等対前年▲3百万円）</p>	<p>○薬品の広島病院との品目共通化を推進</p> <p>○光熱水費等の節減</p>